

グループ再編に係る問題終結宣言並びに御礼

令和3年3月12日

国際ロータリー第2790地区  
各クラブ会長・幹事・会員 各位

千葉南ロータリークラブ  
会長 廻 辰一郎  
市原ロータリークラブ  
会長 本郷 雅嗣  
千葉港ロータリークラブ  
会長 鈴木 芳明  
市原中央ロータリークラブ  
会長 根本 泉  
千葉北ロータリークラブ  
会長 樋口 雅久  
千葉緑ロータリークラブ  
会長 横井 快太

拝啓 早春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。今般は新型コロナ渦、例会開催もままならぬ中のロータリー活動においてご苦勞されている事と推察申し上げます。新型コロナウイルス感染拡大の一刻も早い終息を祈るばかりです。

さて、私達第4グループ6クラブは本日付けを持ちまして、第2790地区執行部との関係修復を図るべく、ここに終結宣言をいたします。

私達が昨年9月25日に共同声明を發出して以降、多くの反響をいただきました。令和3年7月からのグループ再編成実施の見直し撤回を求めるクラブ、或いは私達に賛同してくださるクラブは、令和3年2月初旬で36クラブを超え、まだクラブとしての賛同に至っていないものの会員から賛同が寄せられたクラブも23を数えました。

この状況を鑑みて、令和3年2月16日付け漆原ガバナーより「グループ再編成の施行延期について」が発表され、今後検討・修正の上 2023-24年度から実施されることとなりました。私達の主張に対し漆原ガバナーをはじめとする地区執行部が、「理解と同意を示していただいたもの」と拝察しております。私達は漆原ガバナーの英断を評価し、敬意を表するものであります。

ここに至るまで、地区内各クラブの皆様のご協力を得ました事、感謝申し上げます。また地区内各クラブの皆様にご迷惑をおかけしました事、重ねてお詫び申し上げます。

今回のグループ再編成の強行実施の問題は、地区始まって以来の大混乱を招きました。振り返れば、第2790地区において、ガバナーを始めとするごく一部の地区執行部の地区内クラブと会員の意見や希望に一切耳を貸さないという独善的組織管理の強化を許すのか、それとも第2790地区が、各クラブと会員の意見をできる限り尊重し、議論を通じた柔軟な運営が行われる組織になって行くのかの岐路であったと思います。

只、今回の終結宣言において第2790地区が抱えている問題が解決した訳ではございません。今後は、漆原ガバナー・梶原ガバナーエレクト・小倉ノミニーを中心に、各グループ・各クラブ・各会員で情報共有をしつつ、協議熟慮の上、問題を解決していかねばなりません。

今回の一件で私達は、ロータリーに限らず一方的に「情報を発信した」からといって「情報が伝わった」こととは成らず、ましてや重要な事案の実施においては、誠意ある説明と協議と理解が何よりも必要であることを改めて認識いたしました。また、ロータリアンはロータリーに関し無関心であってはならないとも実感いたしました。

私達は、ロータリー章典や国際ロータリーの組織規程文書等の条文のみに縛られる事なく、そこに至った過程と歴史と伝統から受け継がれるロータリーの精神に照らして正しいと思われる事を、周囲方々の理解を得ながら行動して参ります。

最後になりましたが、今回、地区内各地から多くの応援・声援・賛同を頂きました。多くの会員に関心を持って頂きました。そのお声が我々の力になったのは、まぎれのない事実であります。ここにあらためて感謝申しあげます。ありがとうございました。今後とも、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

敬具